

## 第15回 岩内町地域公共交通活性化協議会 議事録

### 議 事 内 容

14:00 開会

#### (会長)

みなさん、ご苦労様でございます。

本日は大変ご多用のところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。

また、新たに委嘱状を交付いたしました加藤委員におかれましては、これからひとつ、よろしくお願いいたします。

本協議会も本日で第15回目を開催する運びとなりました。バス事業者様、後志総合振興局様、北海道運輸局様、千葉先生におかれましては遠路からお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

また、本日までご出席いただいております各委員の皆様におかれましては、日頃から本町のまちづくりに多大なお力添え、ご理解をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在運行しております、いわない循環バス「ノッタライン」について、運行開始後、1年3ヶ月が経過しておりますけれど、各月とも計画目標を上回る利用が続いており、岩内町地域公共交通網形成計画に記載しております町内の移動の足の確保という課題の解決が着実に進んでいるものと考えております。

今後につきましても、さらなる利用者の増加のみならず、町内の事業者や住民、行政、運行事業者など、地域が一体となった公共交通を支える取組を進めて参りたいと考えておりますので、皆様のより一層のご理解・ご協力・お力添えをよろしくお願いいたします。

本日の協議会では、ノッタラインが運行を開始した平成28年10月から昨年9月までの事業評価を実施し、事業の適切性や目標の達成状況、また今後の改善点等についてご審議いただきたく存じますので、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### (事務局)

会長ありがとうございました。ここで、議事に入る前に、配付資料の確認をさせていただきます。お手元にある配布物といたしまして、まずは会議次第を表紙といたしました議案、こちらは表紙以下3ページとなっております。次に出席者名簿、こちらは1枚ものです。同じく1枚もので配席図。最後に平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案、こちらはA4片面で6枚ものとなっております。以上4種類の資料となります。

不備等ございましたら事務局までお申し出ください。

次に、会議次第の3です。議長であります猪口会長に議事を進めていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

### (会長)

それでは、議事に入る前に、本日の協議会ですけれども、全委員26名中4名が欠席と  
なっていることから、代理出席を含め22名の出席をいただいておりますことをまずご報  
告させていただきます。

それでは、会議次第の3、報告事項に入ります。

報告第1号、岩内町地域公共交通活性化協議会委員の変更について、報告第2号、第1  
4回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について、この2件を一括して事務局から報  
告をお願いします。

### (事務局長)

私の方から報告第1号、第2号を続けてご説明させていただきます。

まず、1ページをご覧ください。

報告第1号は、岩内町地域公共交通活性化協議会委員の変更についてでございます。さ  
きほど、会長より委嘱状の交付がございましたが、改めてご紹介させていただきます。お  
名前をお呼びいたしますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。

地域住民又は利用者の代表で岩内商店街連合会、加藤会長です。

### (委員)

皆様こんにちは。岩内商店街連合会の会長になりました、加藤三博でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

### (事務局長)

ありがとうございます。

引き続き報告第2号をご説明いたしますので、2ページをご覧ください。

報告第2号は、第14回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果についてでございます。

第14回目となる協議会を、昨年、平成29年6月26日月曜日、14時から岩内町役  
場庁舎2階会議室を会場に、協議会委員26名中24名の出席をいただき協議会を開催さ  
せていただきました。

報告事項では、協議会委員の変更について、第13回協議会の結果について、平成28  
年度事業報告について、平成28年度会計決算及び監査報告についての4点をご報告させ  
ていただいております。

また議題につきましては、**議案第1号**平成29年度協議会予算案について、ご承認いた  
だいたところであります。

また**議案第2号**では、平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画案についてご承  
認をいただいたところであります。

なお、新型コミュニティバス導入における車いす利用者への配慮方法などについてご意  
見をいただいたところでございます。

**議案第3号**では、生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）案について  
ご承認をいただいたところでございますが、こちらにつきましては協議会終了後に北海道  
運輸局よりユニバーサルデザインタクシー導入補助の対象事業者が、札幌市の交通圏域の

みに限定され、補助対象外となった事から計画に記載する車両の導入は難しく、実施しないこととなっております。

以上で、報告第1号から第2号までの報告を終わります。

(会長)

ただいま報告第1号から報告第2号までの2件、事務局から報告がございましたが、これらについて何かご質問等ございますでしょうか。

(全体)

～なし～

(会長)

よろしいですか。質疑等ないようですので報告第1号から報告第2号までが確認されました。

次に、会議次第の4、議題に進みます。

**議案第1号**、平成29年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価案について事務局から説明をお願いします。

(事務局長)

3ページをご覧ください。**議案第1号**は、平成29年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価案についてでございます。こちらにつきましては、地域公共交通確保維持改善事業地域内フィーダー系統に基づく補助対象事業は、協議会におきまして事業の実施状況の確認、また評価を行い、北海道運輸局に今年の1月末までに報告及び公表することとなっているため、本協議会において皆様のご審議をいただくものでございます。

別冊の資料1をご覧ください。平成29年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)案についてですが、まず今回評価対象となるのは、いわない循環バス「ノッタライン」についてでございます。

①番、補助対象事業者、また事業概要については、現在運行を行っている、いわない循環バス「ノッタライン」の運行区間や便数、運賃等の事業内容を記載してございます。補助対象事業者は、バスの運行事業者であるニセコバス株式会社となっております。

③番、前回の事業評価結果の反映状況につきましては、今回が初めての自己評価であり、また類似する事業もないため記載事項はございません。

④番、事業実施の適切性につきましては、こちらにつきましては当該事業は、町内における移動の足を確保するためのフィーダー交通の整理、また公共交通を軸としたまちづくりによる地域活性化を目的としたものであり、その評価につきましてはバスの利用実態、また、回数券等の販売における商店街との連携など、1年間適切に事業が実施されたものと考えております。

⑤番、目標・効果達成状況、こちらにつきましては、1日の平均利用者数が65人以上を目標としておりましたが、昨年9月までの平均利用者数は81人であり目標は達成できたものと認識してございます。また、効果につきましては利用者数及び利用者からのご意

見等を勘案いたしますと、一定以上の利便性が確保され、外出機会の促進が図られたものと考えております。

⑥番、事業の今後の改善点につきましては、前回の協議会の中で千葉先生からご意見等いただいたところでございますが、最終8便目の減便について、利用者のニーズ等分析を進め、減便を含めたダイヤ改正を検討し、より持続可能な公共交通とするよう努めてまいります。また、時刻表などにも周知されているところでございますが、岩内円山線の廃止につきましては、本年の3月末をもって路線が廃止することにより、一部の地域におきまして公共交通の空白地域が生じることから、沿線住民のニーズ等を分析いたしまして、必要に応じて今後運行ルートの改正等を検討していきたいと考えてございます。

最後に平成29年度運行事業では実施ができなかったところではございますが、利用促進に関するモビリティマネジメント、利用意識の向上については、今後、新型コミュニティバスが導入されることもありまして、新しいバスを使った乗り方教室や出前講座、こちらなどを積極的に実施していきたいと考えております。

次に2ページをご覧ください。2ページは事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連についてでございます。地域の交通の目指す姿としまして、岩内町は幹線交通の充実がなされているものの、町内を面的にカバーし、また幹線交通に繋げるフィーダー交通が不足していたため、コミュニティバスの運行を行うことにより地域の活性化、また交通環境の確保を目指すものとしてございます。

続きまして3ページをご覧ください。こちらは、岩内町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要でございます。こちらは平成28年6月にご審議いただいた平成29年度の地域内フィーダー系統確保維持計画において記載した内容をまとめたものとなります。

資料の左側にあります、事業の実施の目的・必要性、また生活交通確保維持改善計画の目標等につきましては、先ほどの1ページの概要と重複しているところがございますので割愛をさせていただきます。

資料の右上、地域公共交通の現況としましては、ニセコバス株式会社による雷電線、小沢線、また北海道中央バス株式会社による神恵内線、岩内円山線、高速いわない号がございます。協議会の開催状況につきましては、ご覧の3回の開催状況となっております。

次に4ページをお願いいたします。こちらは平成29年度の事業の実施状況でございます。いわない循環バス「ノッタライン」につきましては、平成28年10月より運行を開始し、岩内バスターミナルを起点といたしまして、病院や商店街、また公営住宅などの需要の多い場所に停留所を設け、町内を循環することにより高い利便性の実現を目指し、運行しているものでございます。

次に5ページをお願いいたします。こちらの折れ線グラフは、平成29年度の運行事業における利用実績でございます。各月とも、岩内町地域公共交通網形成計画に記載している目標人数の月2千人を超える利用があり、年間合計で29,430人、月平均いたしますと2,450人の利用となっております。

利用者の割合といたしましては、大人が23,516人の79.9%。子どもが834人の2.8%。障がい者の方が5,080人の17.3%となっております。利用傾向といたしましては、冬の利用が多く、逆に春・夏など徒歩や自転車による移動が容易な時

期における利用が少ない現状でございます。

また下の（４）番、収入実績としましては、年間合計としまして３，５２６，６７７円の収入がございました。

次に６ページをお願いいたします。こちらに記載している内容につきましては、先ほど１ページにもご説明した内容と重複しておりますので、説明は省略させていただきます。

資料の説明につきましては以上となりますが、協議会における自己評価につきましては、今後、北海道運輸局へ提出する際に、細かな修正等が生じる場合がございますので、予めご了承願います。以上でございます。

**（会長）**

ただいま、事務局から議案第１号平成２９年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案について説明がございましたが、何かご質問ご意見等ございましたら、お願いいたします。

**（委員）**

資料１の１ページで、評価がＡとなっているが、何段階のＡなのか。

**（事務局長）**

Ａ・Ｂ・Ｃの内のＡという評価です。

**（会長）**

その他ご質問等ございませんでしょうか。

**（委員）**

収入実績で運賃収入は出ていますけれど、経費は出ないのですか。

**（事務局長）**

こちらの事業評価ですが、運輸局で様式が決まっております、全体経費については記載する欄がないため、記載していない所でございます。

**（会長）**

記載はしていないけれども、把握はしていますか。

**（事務局長）**

はい。

**（会長）**

それはお知らせすることは可能ですか。公に出来ないのであれば出来ないで教えてください。

**(事務局長)**

事業が平成28年10月から3月までと、平成29年4月から9月までということで、年度がまたがっている状況なのですが、事業経費といたしましては約2,000万円程度がかかっている状況でございます。

**(会長)**

それは2年分のトータルですか。

**(事務局長)**

1年間です。

**(会長)**

年間で概ね2,000万円程度ということですが、よろしかったでしょうか。

**(委員)**

はい。

**(会長)**

その他何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

今回初めての自己評価ということで、利用人数等から見て、事務局としては目標65人が81人の実績があるということで計画は十分達成できたのではないかとございまして。特にご意見等ございませんでしょうか。

**(委員)**

この事業の評価の意味ですけれど、例えば⑤の目標・効果達成の状況というところでございますが、一般的に目標というと売り上げ目標や努力目標などで捉えられがちでございますけれど、この交通事業というのはマーケットに刺激を与えてそこからプロジェクトの対価を得るような、収益を得るようなそういうビジネスモデルではないわけです。そもそも用事のない人がむやみやたらにバスに乗ったり、汽車に乗ったりというのは基本的にないのです。ですから、ここで掲げている目標というものは、言ってみればどういうシステムを組むのか、フレームワークを考える為の予測値という意味合いの方が遙かに強いと考えます。私どもはよくこういう計画を立てる時に、学生たちに教育するときも申し上げるのですが、公益的なプロジェクトの予測だとかありようだとかと、商業的な目標の収益を目的とした様なことだとか利益の目標だとかは本来的に意味が違うということを説明してもらって、そうもしないとたまたま予測がずれただけで、経営努力が足りないとか見当違いの議論になりかねないのです。目標というのはあくまでも予測、公益的な事業展開をするため、コストがかかる訳ですから、そのコストに対する予測の適切さの意味合いであり、逆に言うと、先ほどの質問で「コストがどれくらいかかったのか」というものがございました。これについては、やはりどこかに情報が開示されている方が望ましいだろうという具合には思います。私はよその地域でもお手伝いをしていますが、よその地域ではど

れくらいコストがかかったという情報は開示した資料が別につけてあったりというのがよくございます。役所に届ける様式どおりかどうかというのは別にして、この事業を定期精査、事業を実施した上で適正かどうかを判断する上でのコストの開示、これはあった方がよいというのが私の意見でございます。以上です。

(会長)

ありがとうございます。今の件で事務局から何かありますか。

(事務局長)

ありがとうございます。今回初めての自己評価ということで定型の報告書で資料として添付させていただきましたが、今のご意見を踏まえさせていただきますと、次年度以降は全体的な経費、採算性など、そういった資料も添付させていただきたいと思います。

(会長)

その他皆様の方からございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

特にご意見等ないようでございます。

それでは議案第1号の案ということでございますけれど、この案をもって評価を決定ということで運輸局へ提出したいと思っておりますけれど、よろしいでしょうか。

(全員)

～一同承認～

(会長)

それでは、ご承認をいただきました。ありがとうございます。

これで議題の方は終わりですが、その他ですけれども、皆様の方から何かございますでしょうか。特にないようですが、事務局の方から何か連絡事項などございますでしょうか。

(事務局長)

事務局の方から3点ご連絡させていただきたいと思っております。

まず1点目は、新型コミュニティバスの車体のラッピングについてでございます。以前にもお伝えしているところではございますが、新型コミュニティバスの車両が平成30年の6月末を納期限といたしまして、現在、日野自動車で製造を進めているところでございます。併せて、町民の皆様にご愛着を持っていただけるような車体のラッピングデザインについて事務局の方で検討した結果なのですけれども、地元岩内高校の美術部にデザインの原案を依頼するよう作業を進めているところでございます。当初、愛称と同様に公募でデザインを決定するという予定もございましたが、岩内高校の美術部が全道全国的にも輝かしい成績を収められているということで、地元の高校生に、ぜひ町の公共交通と一緒に盛り上げていただきたいと思いますと思ひまして調整を進めさせていただきました。

今後のスケジュールにつきましては、2月から3月にかけて原案を作成していただき、デザインを決定いたします。そして新型コミュニティバスのラッピングを進めて行き

たいと考えております。デザイン決定後は、委員の皆様にお知らせしたいと考えております。

2点目は、岩内円山線の廃止についてでございます。先ほど今後の事業の改善点でも述べましたが、今年の4月以降現在の岩内円山線が廃止することにより、沿線住民の地域公共交通における利便性の確保、こういったところも今後考えていかななくてはならないという可能性がございます。事務局としましては、現在、いわない循環バス「ノッタライン」のルート変更で対応が可能かどうかという所で検討を進めていきたいと考えてございます。その際には次回6月に開催予定の協議会での議題、平成31年度地域内フィーダー系統確保維持計画において、ご提案させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

3点目は次回の協議会の日程の予定でございます。平成30年の6月を予定しております。内容といたしましては平成29年度決算等の報告、新年度の予算案、また、平成31年度地域内フィーダー系統確保維持計画案についてご審議をいただく予定となっております。日付等決まりましたら、また改めてご案内させていただきたいと考えております。私からは以上でございます。

#### (会長)

ただいま、事務局から3点連絡事項についてございましたが、これについて何か確認したい事等ございませんか。

特にラッピングの部分、岩内高校の美術部にお願いするという事でございますけれど、校長先生から何かその点についてありましたらお願いいたします。

#### (委員)

美術部の顧問から話を確認しておりまして、子どもたちにとってもありがたい事だと思っています。案を2つ3つ描いて選んでいただくという方向で進めるということも子どもたちと話合っていますので、ご期待に応えられる内容であればと思っております。

#### (会長)

ありがとうございます。その他全体について皆様の方から何かございませんでしょうか。

#### (委員)

試験運行の時に、タクシーの売り上げへの影響があるか聞いていただいたのですが、順調に運行してからはそのような話がないのですが、ノッタラインが順調になるとタクシーへの影響は大きくなります。試験運行の時だけデータを取ってもらったのですが、本運行に入ってからデータは必要ないのでしょうか。

#### (事務局長)

運行開始から1年経ちましたので、こちらの方もデータとして取りたいと思います。



(会長)

試験の時には取ったけれども、本格運行になってからは取ってないのですよね。

(事務局長)

取っていません。

(会長)

今後、事務局で本格運行に係る部分のデータを取って、機会をみて皆様に情報としてご提供したいと思います。

その他、全体を通じて皆様の方から何かございませんか。

他にないようですので、以上をもちまして第15回協議会を終了させていただきます。どうもお疲れ様でございました。

14:32 終了